

## 九病虫研会報における図表のフォーマット（和文の場合）

波下線でゴチ(太字)指定。ピリオド打たない。1文字あけ。

供試薬剤	全体の発病 株率 <sup>b</sup> (%)	褐変粒率 (%)	褐変率の発病 株率 <sup>c</sup> (%)	外観健全粒率 (%)	外観健全粒の 発病株率 <sup>d</sup> (%)
プロピコナゾール乳剤, 2回散布	6.0 a	3.7 a	28.6 a	96.3	5.5 a
プロピコナゾール乳剤	21.0 b	17.3 ab	49.3 b	82.7	14.1 b
チオファネートメチル水和剤	46.8 c	40.7 c	67.6 b	59.3	31.2 c
無処理	34.5 d	26.7 bc	55.1 b	73.3	27.4 bc

a) 数値は3試験区の平均値。同一カラムの異なる添え字はANOVA後、Tukeyの多重検定で5%水準で有意差有り。統計検定は角変換後に行った。b)  $100 \times (\text{調査対象全粒の発病株数}) / (\text{調査対象全粒数})$ 。c)  $100 \times (\text{褐変粒の発病株数}) / (\text{褐変粒数})$ 。

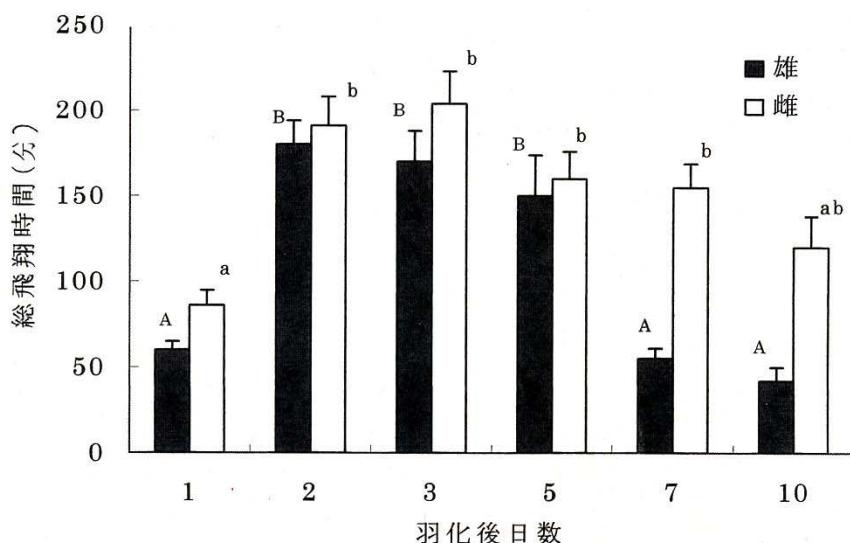
d)  $100 \times (\text{外観健全粒の発病株数}) / (\text{外観健全粒数})$ 。

ゴチ指定。上付文字にしない。

ピリオド打つ。

図表にはピリオド、カマを使用する。  
句点や読点を使用しない。

改行しない。



ゴチ指定。1文字あけ。

ピリオド打つ。改行しない。

第2図 アカヒゲホソミドリカスミカメの飛翔活性に及ぼす成虫羽化後の日齢の影響。棒グラフ上の縦のバーは標準誤差を示す。同じ性の間で同一文字を付与した値は有意差なし(大文字が雄、小文字が雌)。

印刷過程でのミスをふせぐため、図の説明(Figur legends)は別紙にまとめて記載し、原稿末尾の引用文献の次に挿入する。

## 九病虫研会報における図表のフォーマット（英文の場合）

ゴチ指定。 ピリオド打つ。1文字あけ。 表の注釈はa),b),c)...の上付文字で示す。

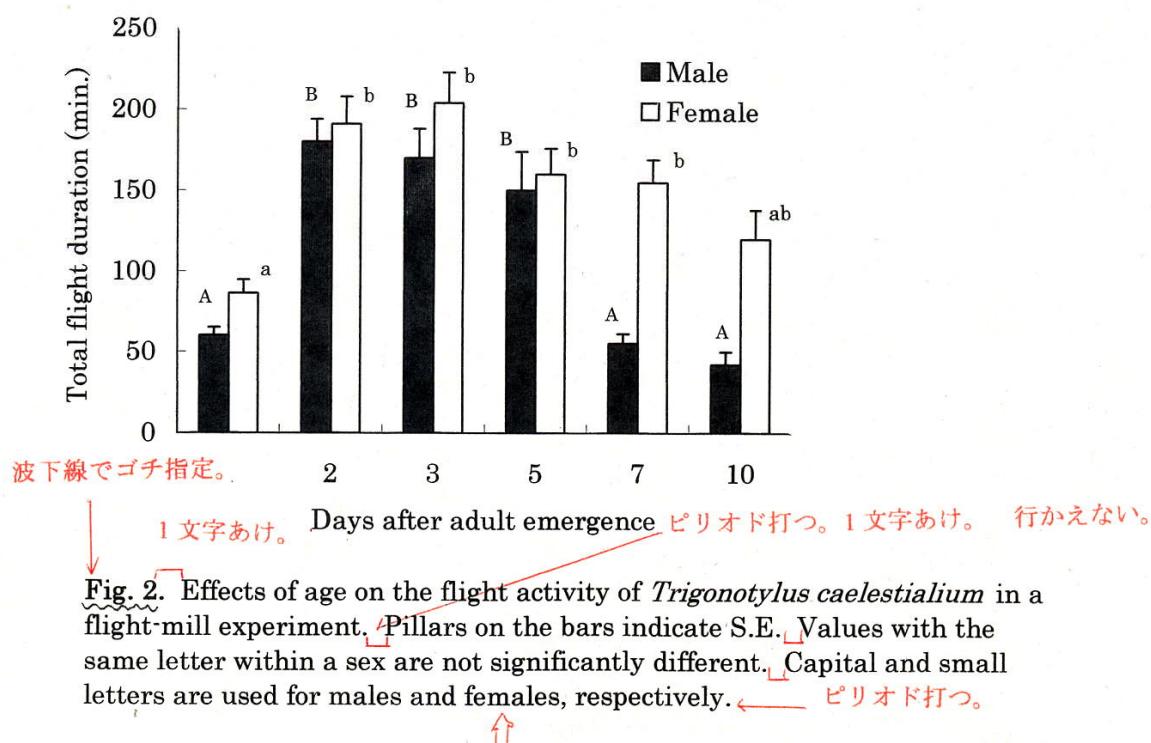
**Table 3.** Suppression of leaf blast in a field using sprays of phylloplane fungi

Isolate no.	Lesions per hill <sup>a),b)</sup>			
	Experiment 1	Experiment 2	Experiment 3	
J2JMR3-2	0.9	16.5*	0.8	ピリオド打たない。
K1KM134-1	NT <sup>c)</sup>	31.6	1.4	
K2J131-2	NT <sup>c)</sup>	26.7*	0.7	
MKP5111B	2.1	26.8*	0.6 行かえない。	
Control	2.8	89.7	1.6	

a) Average number of blast lesions per hill. b) Means with an asterisk within each column are significantly different from those of the control treatment, according to Dunnett's test ( $P = 0.05$ ). c) NT; not tested.

上付文字にしない。  
波下線でゴチ(太字)指定。

ピリオド打つ。1文字あけ。



印刷過程でのミスをふせぐため、図の説明(Figur legends)は別紙にまとめて記載し、原稿末尾の引用文献の次に挿入する。